

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業いちばんぼし		
○保護者評価実施期間	R6年9月17日		R6年10月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R6年9月17日		R6年10月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・保護者が安心して楽しく通所できている。	毎日の送迎時に活動でのお子さんの様子を伝えたり、学校の先生から聞いた話をこまめに伝えるようにしている。普段からお子さんのちょっとした変化を見つけるようにし、心配な事がある時は保護者と共有し、対応策を一緒に考えるよう支援している。	毎日のミーティング等で、利用児や保護者の様子を伝え合い、職員間で情報共有をする。また、個別に保護者と面談する機会を設け、相談や助言を行っていく。
2	医療機関との連携が取りやすい。	同じ建物内に小児科があり、急病やけがの際もすぐ受診ができるため安心して過ごせる。また、必要に応じてドクターへの面談や投薬の相談、言語訓練に繋げることができ、その際にも連携が取りやすい。	保護者の悩みや心配ごとに寄り添って解決できるよう、必要に応じてドクターへの相談に繋げていく。
3	利用児が楽しく過ごせるよう、様々な活動を提供している。	クッキングや制作などや自立支援と日常生活の充実のための活動や、運動遊び・季節の行事・長期休暇時の外出企画など、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動等を取り入れ、様々な経験を重ねられるよう工夫している。	安心して過ごせる環境の中で、お友だちと一緒に様々な成功体験を重ね、自信を持って自分の力でできることを増やしていけるよう、自己選択や自己決定を促す関わりや支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の部屋が狭く、十分に体を動かせるスペースが確保できていないこと。	現状では、新たな部屋やスペースを作ることは難しい。	限られたスペースを有効活用するために、物の配置を工夫したり、いらぬ物を片付けるなど、空間を広く使えるようにする。同建物内の広い部屋を借りて、運動遊びを行ったり、公共の施設(体育館等)を借りて活動する等の機会も増やしていく。
2	保護者会やペアレント・トレーニング等、保護者が参加できる研修等の機会を持っていない。	事業所での業務が忙しいため、保護者会等の研修に参加する時間の確保が難しい。	保護者の意向も聞きながら、研修に参加できる体制作りや実施を今後検討していく。
3			